



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 極洋
コード番号 1301 URL <http://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 多田 久樹

問合せ先責任者 (役職名) 企画部長

(氏名) 上島 幹雄

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	139,985	11.6	1,827	25.9	1,999	21.4	157	△74.6
23年3月期第3四半期	125,465	11.0	1,451	△24.3	1,646	△27.4	618	△37.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 349百万円 (4.1%) 23年3月期第3四半期 335百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	1.50	—
23年3月期第3四半期	5.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	93,290	17,165	18.1
23年3月期	76,925	17,555	22.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 16,931百万円 23年3月期 17,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	176,500	8.5	2,300	44.8	2,300	29.0	1,300	—	12.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	109,282,837 株	23年3月期	109,282,837 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	4,248,051 株	23年3月期	4,247,756 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	105,034,991 株	23年3月期3Q	105,709,805 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2P
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2P
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3P
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3P
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3P
3. 四半期連結財務諸表	4P
(1) 四半期連結貸借対照表	4P
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6P
(3) 継続企業の前提に関する注記	8P
(4) セグメント情報等	8P
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9P

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から回復基調にあるものの、欧州の財政金融危機などによる円高の定着、資源価格高の進行など不透明な状況が続いております。

水産・食品業界におきましても、海外における魚食志向の高まりや新興国の経済成長などの影響により水産物全般の買付価格が上昇する一方、国内においては消費者の節約志向、低価格志向が続く展開となっております。

このような状況のもとで当社グループは、震災によるダメージから回復することを第一に、引き続き安心・安全な食品の提供に努め、事業基盤の強化と収益の確保を重視した積極的かつ効率的な運営を図りました。

水産商事事業セグメントでは、海外における水産物の買付価格が上昇している中、年末需要による日本国内の冷凍魚に対する需要も高まり、水産物全般の市況が堅調に推移しました。こうした状況下、北洋魚などを加工原料として拡販するとともに、定塩さけ製品や、かに・えびの剥き身など加工を施した付加価値製品の取り扱い拡大を図ったことにより、売上、利益とも前年同期を上回りました。

冷凍食品事業セグメントにおける水産冷凍食品では、寿司種を中心とした生食用商品や骨なし切身、焼魚、煮魚などの加熱用商品の拡販を行いました。調理冷凍食品は消費者の外出から中食、内食傾向への強まりを背景に、量販店やコンビニ向けに水産フライ類に加え、畜肉フライなど惣菜類の販促に努めました。その結果、この部門は売上、利益とも前年同期を上回りました。

常温食品事業セグメントでは、震災の影響による国内での水産缶詰の供給不足が続く中、ツナ缶などの輸入缶詰や畜肉缶詰、海産珍味類などを中心に量販店や大手コンビニルートへの拡販及び新規商材の開発によるカバーに努めた結果、売上は前年同期を上回りましたが、原料価格の高騰や資材の値上がりなどにより、利益は前年同期に及びませんでした。

物流サービス事業セグメントにおける冷蔵倉庫事業では、営業力強化と事業の効率化に努めました。冷蔵運搬船事業は、長引く海運市況の低迷の影響に加え、急激な円高及び燃油価格の高騰など厳しい状況が続きました。その結果、この部門は売上、利益ともに前年同期を下回りました。

鰹・鮪事業セグメントにおける海外まき網事業は、魚価が前年同期を上回ったものの、かつおの漁獲不振の影響を受けました。養殖事業は、えさ代など材料費節減に努め、原価が低減したものの、最大の需要期である年末に悪天候による水揚げ作業の遅れが生じました。かつお・まぐろ加工及び販売事業は、国内外からの原料調達ルートの拡充を図り、安定的な原料確保に注力し、大手回転寿司チェーン店や量販店などへの拡販に努めました。その結果、この部門は売上、利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,399億85百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は18億27百万円(前年同期比25.9%増)、経常利益は19億99百万円(前年同期比21.4%増)となりましたが、株価の下落により、特別損失として投資有価証券評価損7億31百万円が発生したことにより、四半期純利益は1億57百万円(前年同期比74.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ163億65百万円増加し、932億90百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ173億40百万円増加し、734億86百万円となりました。固定資産は、減価償却に伴う有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ9億75百万円減少し、198億3百万円となりました。

負債合計は、短期借入金増加やコマーシャル・ペーパーの発行などにより、前連結会計年度末に比べ167億55百万円増加し、761億24百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億90百万円減少し、171億65百万円となりました。

この結果、自己資本比率は18.1%(前連結会計年度末比4.1ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しましては先行きは不透明であり、平成23年11月2日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当する事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,382	4,010
受取手形及び売掛金	18,884	30,073
たな卸資産	29,681	35,462
その他	4,240	3,986
貸倒引当金	△43	△47
流動資産合計	56,145	73,486
固定資産		
有形固定資産	12,331	11,753
無形固定資産		
のれん	352	340
その他	425	406
無形固定資産合計	777	746
投資その他の資産		
投資有価証券	4,035	3,887
その他	3,656	3,437
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	7,669	7,303
固定資産合計	20,779	19,803
資産合計	76,925	93,290

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,689	9,005
短期借入金	36,102	45,634
コマーシャル・ペーパー	—	5,000
未払法人税等	1,072	514
引当金	718	348
その他	5,607	6,595
流動負債合計	50,190	67,099
固定負債		
長期借入金	3,622	2,988
退職給付引当金	4,350	4,931
その他の引当金	88	77
資産除去債務	49	49
その他	1,067	977
固定負債合計	9,178	9,025
負債合計	59,369	76,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	749	749
利益剰余金	12,119	11,751
自己株式	△747	△747
株主資本合計	17,785	17,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△742	△405
繰延ヘッジ損益	83	25
為替換算調整勘定	△48	△106
その他の包括利益累計額合計	△707	△486
少数株主持分	477	233
純資産合計	17,555	17,165
負債純資産合計	76,925	93,290

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	125,465	139,985
売上原価	111,235	124,721
売上総利益	14,230	15,264
販売費及び一般管理費	12,778	13,436
営業利益	1,451	1,827
営業外収益		
受取利息	66	57
受取配当金	85	95
為替差益	182	160
その他	156	225
営業外収益合計	490	539
営業外費用		
支払利息	279	314
その他	16	53
営業外費用合計	295	368
経常利益	1,646	1,999
特別利益		
固定資産処分益	5	74
負ののれん発生益	21	—
その他	1	—
特別利益合計	28	74
特別損失		
固定資産処分損	3	5
投資有価証券評価損	105	731
投資有価証券売却損	1	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	—
その他	0	0
特別損失合計	138	736
税金等調整前四半期純利益	1,536	1,336
法人税、住民税及び事業税	1,107	1,013
法人税等調整額	△202	175
法人税等合計	904	1,188
少数株主損益調整前四半期純利益	631	148
少数株主利益又は少数株主損失(△)	13	△8
四半期純利益	618	157

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	13	△8
少数株主損益調整前四半期純利益	631	148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△267	335
繰延ヘッジ損益	△26	△57
為替換算調整勘定	△2	△78
その他の包括利益合計	△296	200
四半期包括利益	335	349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312	378
少数株主に係る四半期包括利益	22	△29

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益 及び包括 利益計算 書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	61,312	32,225	10,187	2,885	18,805	49	125,465	—	125,465
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,993	1,602	168	677	952	611	15,006	△15,006	—
計	72,306	33,827	10,355	3,562	19,758	661	140,471	△15,006	125,465
セグメント利益又は 損失(△)	1,383	372	248	△455	320	48	1,917	△465	1,451

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額465百万円には、のれんの償却額13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用486百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益 及び包括 利益計算 書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	69,237	37,225	10,475	2,622	20,366	57	139,985	—	139,985
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,313	1,186	187	797	927	657	17,071	△17,071	—
計	82,551	38,411	10,663	3,420	21,294	715	157,057	△17,071	139,985
セグメント利益又は 損失(△)	1,417	503	177	△620	577	101	2,155	△327	1,827

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額327百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用403百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。